

第 5 回秋田市河辺地域公共交通研究会議事録

開催の日時 平成21年 4 月 9 日（木）午後 2 時00分～午後 3 時30分まで

開催の場所 秋田市河辺地域活動センター 3 階第 1 会議室

委員の定数 18名

出席委員 12名

議 題 (1) 河辺地域の代替交通について

事 務 局 開会の言葉

事 務 局 アドバイザー委員の紹介

会 長 挨拶

議事に入る、「(1)河辺地域の代替交通について」を事務局より説明願いたい。

事 務 局 前回研究会としての意見集約がなかった事項について、今回取りまとめていただきたい。

A コースでは、1運行経路、4 使用車両、5 運行間隔、6 運賃設定の 4 点である。B コースでは、1運行経路から 6 運賃設定までの全部の項目 6 点になる。よろしくご審議願いたい。

会 長 それでは、コース別かつ項目別に意見集約をしていきたい。

まず、A コースの運行形態からである。

前回の検討の中では、定時定路型を支持する意見が多かったが、それで意見集約してよろしいか、ご意見を伺いたい。

全 委 員 異議なし

会 長 次は 2 の路線バスの結節点である。

前回の検討の中では、御所野新都市交通広場で乗り継ぐこととしていたが、それで意見集約してよろしいか、ご意見を伺いたい。

委 員 運行経路として、提案された A コースは御所野新都市交通広場までとなっているが、赤十字病院まで延伸できなかったのか。

また、赤十字病院、大学病院、太平地区を經由して岩見三内まで戻る循環コースの方が便利であると思うので、そのようなコース設定は検討できなかったのか。

事 務 局 赤十字病院までの延伸や循環コースでは、バス路線との競合になるため、運行事業者と調整協議が必要になり、路線バスの廃止期限である今年 9 月までの実施は困難である。

委 員 A コースと J R 間で時間待ちを少なくして、高校生が円滑に通学できるように配慮できないのか。

事 務 局 より一層利用していただけるよう和田駅での電車の時刻と接続できるよう考慮して時刻を決定したい。

委員 御所野新都市交通広場で路線バスと接続は円滑に実施できるのか。

事務局 Aコースの運行時刻は、JR和田駅の電車の発車時刻にあわせるとともに、秋田中央交通株式会社と協議して御所野新都市交通広場での接続時刻を調整するので、円滑な乗り換えは可能である。

会長 路線を延長すれば、新たな利用者も見込まれるが、バス事業者との競合問題があり、時間がかかることを考慮し、接続時刻を調整することを前提として、提案のとおりとしたい。

全委員 異議なし

会長 3の経路については、概ね前回の検討案のとおり、今回も提案しているようであるが、それで意見集約してよろしいか、ご意見を伺いたい。

委員 前は、^{はた}畑地区を通るコースも併せて検討していたが、今回の説明の中にはなかったがどうするつもりなのか。

事務局 前回、1の運行形態において、意見の大勢が定時定路型を選択した段階で提案したAコースに確定したものと考えている。
畑地区を運行することは予約が必要になるので、不可能である。

会長 現在、秋田中央交通株式会社が設置している停留所をそのまま残すことは可能か。

事務局 民家がなくて利用が望めない場所を除いて、経路上で現在設置している停留所は存続することとしたい。
秋田中央交通株式会社から譲渡を受けることが可能な停留所は譲渡を受けたいし、それ以外は新規に運行事業者が設置することになる。
地元で新規に設置を要望したい箇所があれば検討することも可能である。

会長 4の使用車両については、前回の検討案のとおり、定員29人のマイクロバスとしているようであるが、それで意見集約してよろしいか、ご意見を伺いたい。

委員 我々が高校生の時代の通学時間帯は岩見三内から和田駅までは3台分以上の乗客がいたものであるが、今はどうであろうか。
運行車両は定員29人のマイクロバスを予定しているようであるが、乗り残しの心配はないのか。

事務局 平成18年度に調査した利用実態調査から推測すると、岩見三内と和田駅間はほとんど9人以下であり、乗り残しになる確率はほとんど無い。

会長 5の運行間隔について、ご意見を伺いたい。

委員 雄和地域を運行するユーグルの運行状況を教えてほしい。

事務局 ユーグルは岩見三内線と同じ程度の運行本数で、一周約40～50キロくらいを約1時間かけて運転している路線である、利用者はルート上に温泉や市の施設があり、高血圧の防止教室などの事業に参加する市民も利用するので、参加者が利用する便の利用者数は比較的多いが、その他の便はほとんど一桁の利用者数であり、また、運賃は100円の均一制のために、市内の路線の中では最大の赤字路線となるのである。

委員 現在、平日の岩見三内線の運行は8往復程度である。

今回の提案は、同じ程度の運行本数であるので、賛成してもいいのではないのか。

事務局 また、今回の提案については、土曜日・日曜日の運行本数も併せて提案しているのは、土曜日・日曜日については、病院などが休みのためどうしても利用者の絶対数が少なくなるため、最終的に運賃面ではね返るからである。そのため、利用者の少ない土曜日・日曜日については、割り切って全面運休を選択している都市もあるのである。

委員 土曜日と日曜日について、利用者からの要望があった場合によっては、後日、運行することは可能か。

事務局 こちらで知っている情報の中では、雫石町の例があるので、可能であると考ええる。

会長 そうすれば、土曜・日曜日は運休としてよろしいか。

委員 運行経費が運賃にはね返ることを考慮しつつ、現在の利用状況からすれば、土曜・日曜日を運行することは厳しい。当面は運休することとし、利用者からの要望を待って運行することとしたらどうか。

委員 土曜日と日曜日の利用実態はどうか。

事務局 平日の半分以下であり、利用者は少ない。

委員 住民、特に利用者の心構えとして、我慢することは我慢し、要求することは要求し、サービスを受けることは受けるよう、メリハリをつけることが必要ではないのか。

委員 一番需要のある時間帯 2 往復程度は運行してもいいのではないだろうか。

委員 しかしながら、土曜日と日曜日は潔く運行をやめる決断も必要である。そうは言っても、高齢者が増加するための将来の需要増加の要素も加味しなければならないと思う。

事務局 委員の意見を集約しながら、雄和との調整を図らせていただきたいので、今回は事務局に任せていただき、次回報告することとしたいがどうか。

会長 皆様、事務局案でどうだろうか。

全委員 異議なし

会長 最後に、6 の運賃設定に関して、ご意見を伺いたい。

委員 ゾーン制で100円単位、現在の路線バスでは750円程度の区間を500～600円程度で利用できるよう設定できないものか。

委員 均一制になるとすればどの程度の金額になるのでしょうか。

事務局 御所野で乗換を考慮し、現在の路線バスの運賃を参考とすれば、500円は下回らないと考える。

委員 利用した距離に比例して運賃が高くなる対キロ区間制が平等でいいと思うが、

ゾーン制の特徴を説明してほしい。

事務局 (ゾーン制の説明をする。)
 北部で採用しているゾーン制の特徴としては、町内と町内の切れ間に設定するなど利用者に周知を図り易くなるよう配慮した点である。

委員 そのように配慮していただければ、ゾーン制とすることに賛同する。

会長 皆様、ゾーン制でどうだろうか。

全委員 異議なし

会長 次に、Bコースに移る。事務局からコースの説明を再度してほしい。

事務局 北部の乗合タクシーの利用実態を含めて、Bコースのルートを再度説明する。

会長 それでは、皆様から、ご意見を伺いたい。

委員 ^{うやしな}い 鷺 養町内へ向かう最終バスを私が利用する際は、私一人しか利用していないときが多く、日によっては空バスを運行しているのではと思い、このままではバス会社の経営は大変ではないのかと危惧していたところである。

委員 2月にBコース沿線の町内会長を集めて、会議を開催したと聞いたが、その際、どのような話をしたのか。

事務局 路線バスの利用実態などを中心に伺ったのであるが、その中で、今回に関連ある話としては、運行日を毎日ではなく、曜日限定は可能かどうかを伺ったところ、利用実態から、隔日運行でもやむを得ないので、朝の通院が可能なように、午前8時くらいまで岩見三内に到着する便を設定してほしいことと太平線に接続してほしいことが要望された。

委員 予約制を採用した場合、予約しないと絶対に利用できないのか。

事務局 予約しなくても乗れる区間や時刻を設定することなどは可能であるので、この研究会において、利用方法の詳細を後日決定すればよい。

会長 1の運行形態については、予約制としてよろしいか。

全委員 異議なし

会長 次に、2の結節点について、ご意見を伺いたい。

委員 病院が近くにある岩見三内コミセンでいいのではないのか。

会長 2の結節点については、岩見コミセンとしてよろしいか。

全委員 異議なし

会長 次に、3の経路について、ご意見を伺いたい。

委員 現在は岩見三内と3地区とを結んでいる現コースを全部運行すると本数が分割されるので、事務局案でいいのではないのか。

会長 3の経路については、事務局からの説明のとおりのルートとしてよろしいか。

全 委 員 異議なし

会 長 次に、4の使用車両について、ご意見を伺いたい。

委 員 ^{うやしな} 鵜 養町内方面へ行くバスでは10人以上乗っているところを見たことがないのでジャンボタクシーでもいいのではないのか。

会 長 4の使用車両については、ジャンボタクシーとしてよろしいか。

全 委 員 異議なし

会 長 次に、5の運行間隔について、ご意見を伺いたい。

委 員 先ほどに説明があったように、地元町内会長の意見を尊重してはどうか。

会 長 5の運行間隔については、月水金のみで1日5～6便としてよろしいか。

全 委 員 異議なし

会 長 次に、6の運賃設定について、ご意見を伺いたい。

会 長 6の運賃設定については、均一制としてよろしいか。

委 員 循環コースでもあるので、均一制でいいのではないのか。

全 委 員 異議なし

会 長 何か他にあるか。なければこれで今回は終了とする。

- 議事終了 -

事 務 局 次回は5月中旬から下旬に行なうよう準備する。